

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 3号)

2024年10月31日発行
 兵庫のみ研究所

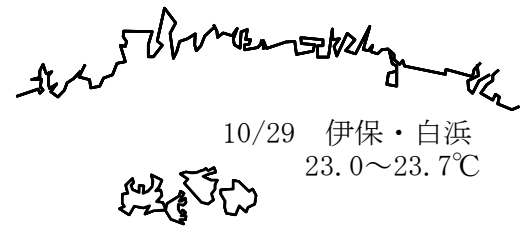
10月27日から続く断続的な降雨(地点:姫路,合計降水量52.5mm)後の調査でした。赤穂漁場では、大型珪藻のコシノディスカスが増加していました。その他の海域では、珪藻類の発生量はやや減少しています。窒素は、地先漁場で陸水の影響により特異的に高い地点を除き、概ね2~6 $\mu\text{g at/L}$ 台、沖合漁場で概ね3 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(栄養塩、珪藻)

赤穂漁場を除き、大型珪藻コシノディスカスの発生量はやや減少しており、小型珪藻類はほぼ確認されない状況であった。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、赤穂漁場で1200細胞前後(前回値:900細胞前後)、室津漁場以東で200~400細胞(前回値:300~900細胞)、沖合漁場で50~150細胞(前回値:100~200細胞)であった。

網干漁場では、陸水の影響により窒素の値が特異的に高くなっていた。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.5	3.0	3.7	1.3
	リン	0.61	0.61	0.54	0.70
家島・坊勢	窒素	2.2	3.3	3.3	2.3
	リン	0.63	0.62	0.68	0.77

(10/21) ※窒素の平均は網干を除く

(10/27)

栄養塩 (窒素) 図

2024年10月31日調査

